

ごあいさつ



「食」は生涯にわたる営みであり、私たちは、毎日食事をして生活をしています。また、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べることは、人に生きる喜びや楽しみを与え、健康で心豊かな暮らしの実現に大きく寄与するものです。

明日の群馬県を支える子どもたちが、健やかな心と身体を培い、未来や国際社会に向かって羽ばたくことができるようにするとともに、すべての県民が心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切であり、「食育」はその基礎となるものと考えています。

本県では、群馬県食育推進計画「ぐんま食育こころプラン」(平成18年5月)及び第2次群馬県食育推進計画「ぐんま食育こころプラン2011-2015」(平成23年3月)を策定し、10年にわたり市町村、関係機関・団体等、様々な関係者とともに食育の推進に努めてまいりました。

その結果、家庭、学校、保育所等をはじめとして食育は進展し、着実に推進されてきましたが、食をめぐる様々な問題は、依然として顕在化しております。

近年、少子高齢化や疾病構造の変化が進む中、生活習慣病の予防を推進し、健康寿命の延伸を実現することは、本県の重要課題であり、食育の観点からも積極的な取組が求められています。

また、「食」を取り巻く社会環境が変化する中であっても、我が国の大切な食文化が失われることがないよう、食文化の継承も重要な課題であるとともに、農業生産県である本県の利点を活かした食育活動により、農業の活性化につながることも期待されています。

そのため、今回の計画では、これまでの食育の推進の成果と食をめぐる状況や課題を踏まえ、地域の食育活動を担う多様な関係者がそれぞれの特性を生かしながら、連携・協働し、その実効性を高めつつ、「食」で地域がつながり、地域が元気になり、健康寿命の延伸につながる食育」を推進します。

今後も市町村をはじめ、地域の関係機関・団体や食品関連事業者等の多様な関係者の皆様の御理解と御協力を賜り、社会全体で総合的に食育が推進されますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心な御審議、御協議をいただきました元気県ぐんま21推進会議、群馬県食品安全審議会及び群馬県食育推進会議の委員の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位に心から御礼を申し上げます。

平成28年3月 群馬県知事

大澤正明